

会 議 録

1 会議名

平成29年度第7回吉川区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・協議事項（公開）

（1）自主的審議事項の検討について

（2）平成30年度地域活動支援事業採択方針等について

・報告事項（公開）

（1）今冬の道路除雪計画について（柿崎区建設グループ）

（2）地域おこし協力隊について（総務・地域振興グループ）

（3）町内会集会所整備等補助事業の見直しについて（総務・地域振興グループ）

（4）台風21、22号の被害状況について（総務・地域振興グループ）

（5）家庭ごみの分別方法の一部変更について（市民生活・福祉グループ）

（6）要援護世帯の除雪費助成制度の一部変更について（市民生活・福祉グループ）

（7）地域包括支援センターの再配置について（市民生活・福祉グループ）

（8）旧旭保育園及び旧吉川中央保育園の解体工事について（市民生活・福祉グループ）

（9）総合事務所からの諸報告について

3 開催日時

平成29年11月14日（火）午後5時30分から午後7時17分まで

4 開催場所

吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：上野康博、薄波和夫、大滝健彦、片桐利男、片桐雄二、加藤正子、
佐藤均、関澤義男、山岸晃一、山越英隆、横田弘美

・事務局：小林所長、大場次長（総務・地域振興グループ長兼務）、小池市民生活・福祉グループ長（教育文化グループ長兼務）、

（以下グループ長はG長と表記）、

古屋柿崎区建設クループ長、

南雲総務・地域振興グループ班長、鷺津総務・地域振興グループ主任

8 発言の内容

【大場次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・五十嵐委員、平山委員、山本委員の欠席を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：片桐雄二会長

【片桐雄二会長】

- ・挨拶

【大場次長】

- ・議長の選出について、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務める。

【片桐雄二会長】

- ・本日の次第の確認
- ・関連する報告事項の整理
- ・協議事項
 - (1) 自主的審議事項の検討について
 - (2) 平成30年度地域活動支援事業採択方針等について
- ・会長報告
 - ・特段なし。
- ・委員報告を求める。

【片桐利男委員】

- ・去る11月11日、東京吉川会の総会があった。記念すべき25回ということで、副市長、小林総合事務所長含め17名で出席した。懐かしい皆様方とお話しする中、ある大手銀行を退職し現在役員室付けになっている方が、大辛口がテーブルにあり、この酒おいしいよね、という話になった。銀行のお客様懇談会に使いたいという話だった。杜氏の郷の中嶋さんがいらっしゃったので、黒ビンの方をということで、試飲方々お持ち帰りいただいた。いい結果が来ることを心待ちにしている。

【片桐雄二会長】

- ・他に質疑を求める。

【委員】

- ・発言なし。

【片桐雄二会長】

- ・事務局からの報告を求める。

【大場次長】

- ・事務局から 7 件報告する。
- ・今冬の道路除雪計画について（柿崎区建設グループ）【別冊資料】
- ・地域おこし協力隊について（総務・地域振興グループ）【報告資料 No. 1】
- ・町内会集会所整備等補助事業の見直しについて（総務・地域振興グループ）
【報告資料 No. 2】
- ・台風 21、22 号の被害状況について（総務・地域振興グループ）【報告資料 No. 3】
- ・家庭ごみの分別方法の一部変更について（市民生活・福祉グループ）
【報告資料 No. 4】
- ・要援護世帯の除雪費助成制度の一部変更について（市民生活・福祉グループ）
【報告資料 No. 5】
- ・旧旭保育園及び旧吉川中央保育園の解体工事について（市民生活・福祉グループ）
【資料なし】
- ・それでは、今冬の道路除雪計画について、柿崎区総合事務所建設グループ・古屋グループ長が報告する。

【柿崎区・古屋グループ長】

- ・別冊資料に基づき報告。

【片桐雄二会長】

- ・質疑を求める。
- ・古屋グループ長は、この後予定があるので、特に質疑がなければ退席する。

【片桐利男委員】

- ・私の住所は梶なのだが、図面の 17 ページに梶地内が載っている。狭路が 30m ほどあり、狭路までのつなぎ目が去年除雪路線だったが、今年を対象になっていないようだが。

【柿崎区・古屋グループ長】

・狭隘路線は別のページだが。

【片桐利男委員】

・そこの繋ぎの間、お寺の入口から狭い道路までのつなぎ目。去年は除雪の対象だった。

【柿崎区・古屋グループ長】

・路線番号は。

【片桐利男委員】

・120である。

【柿崎区・古屋グループ長】

・120の起点が黒丸、終点が矢印になっているが、今言われているのは。

【片桐利男委員】

・その右側である。

【柿崎区・古屋グループ長】

・県道に出る方。

【片桐利男委員】

・そこに狭いという字がある。これが狭路だが、そこまでのつなぎ目である。100mくらい。

【柿崎区・古屋グループ長】

・狭隘道路の図面は別になっている。

【片桐利男委員】

・それまでのつなぎ目である。

【柿崎区・古屋グループ長】

・その間。ここは（除雪を）行っているのか。

【片桐利男委員】

・去年除雪している。

【柿崎区・古屋グループ長】

・ならば、行おうと思う。恐らく、図面に表示がされないだけで、去年除雪していれば今年も行おう。去年と変わらない。

【大場次長】

・次に、地域おこし協力隊について報告する。

- ・報告資料 No. 1 に基づき報告。

【大場次長】

- ・次に、町内会集会所整備等補助事業の見直しについて報告する。
- ・報告資料 No. 2 に基づき報告。

【大場次長】

- ・次に、台風 21、22 号の被害状況について報告する。
- ・報告資料 No. 3 に基づき報告。

【小池G長】

- ・報告資料 No. 4 に基づき報告。

【小池G長】

- ・次に、要援護世帯の除雪費助成制度の一部変更について報告する。
- ・報告資料 No. 5 に基づき報告。

【小池G長】

- ・次に、地域包括支援センターの再配置について報告する。
- ・報告資料 No. 6 に基づき報告。

【小池G長】

- ・次に、旧旭保育園及び旧吉川中央保育園の解体工事について報告する。
- ・旧吉川中央保育園の解体工事については、(株)山崎土木との契約により、現在取り壊しが完了し、整地作業まで終了した。
- ・工事発注が遅れていた旧旭保育園の解体工事について、上越マテリアル(株)と契約し、工期は11月6日から12月2日までの20日間で現在解体が進んでいる状況である。
- ・跡地については、いずれも市の普通財産として適正に管理していく計画である。

【片桐雄二会長】

- ・質疑を求める。

【山岸副会長】

- ・台風被害の中で、県道沿いの法面の崩落について、修復が終わったところが、次の雨で崩れている。町内会長からも話があったと思う。どのような対応をしてもらえるか。

【大場次長】

- ・竹直の県道沿いの件か。柿崎区総合事務所と情報を共有し、県へ連絡していなかった場合は連絡する。

【関澤委員】

- ・平成30年4月から、家庭ごみの分別が変わるが、この表については、全戸配布するか。

【片桐雄二会長】

- ・全戸配布と説明があった。
- ・他に質疑を求める。

【委員】

- ・発言なし

【片桐雄二会長】

- ・4 協議事項に入る。
- ・(1) 自主的審議事項の検討について、である。
- ・まず、各部会長から、各部会での協議状況について、報告のあるところからお願いする。

【山越委員（安全・安心部会副部会長）】

- ・安全・安心部会だが、平山部会長がお休みなので、代わって副部長の山越が報告する。
- ・8月9日に第3回の部会を開催した。地域協議会に提案して審議を行ってほしい議題について審査した。テーマごとにまとめた資料を見て、対応方針を協議した。議題の対応方針を最終的にどういう形にするかを協議し、それを受け、地域協議会に提案したい点がある。
- ・消防の件と防災行政無線の件について提案したが、テーマがきちんと整理されていないと意見をいただいたので、それを受け、9月21日に第4回の部会を開催した。
- ・その中で協議したのは、地域協議会に自主的審議事項として提案したが、内容及びテーマをどうするかを協議しなければならないということで、2つの点を協議した。
- ・消防については、「地域消防団への支援活動及び今後について」という題目を提示する。防災行政無線については、「防災無線を含む情報伝達の確保について」という題目で提案することとなった。
- ・今後の部会については、緊急性のないものは、すべての出張地域協議会が終わった

後で、包括的に取り扱うのがよいのではないか、という意見が出た。

- ・そういう内容で、報告と提案をする。

【片桐雄二会長】

- ・今ほど、安全・安心部会から提案があった2点。自主的審議事項として上程したい案件となるが、1つは、「地域消防団への支援活動及び今後について」という題目である。
- ・もう1つは、「防災無線を含む情報伝達の確保について」で、地域の情報伝達方法を防災無線も含め検討してもらいたい、ということである。
- ・皆さんから協議をいただきたい。
- ・まず、「地域消防団への支援活動及び今後について」、自主的審議事項としての取扱いをと要望があるが、協議願う。具体的な内容については、今後の支援をどうするかということになる。自主的審議事項となれば、定期的に協議し、その方向性を出すことになる。意見を賜りたい。

【委員】

- ・発言なし。

【片桐雄二会長】

- ・消防団への支援について、自主的審議事項に上げるとなると、どのような支援ができるかという協議となる。進め方もいろいろだが、消防団から意見や要望を聞いたりということもある。
- ・自主的審議事項への上程について、意見をお願いしているが、意見がなければ、自主的審議事項に上げさせてもらってよいか。

【上野委員】

- ・前回も消防の件について話をしたが、消防の人達は独立性が強いと考えている。自主的審議事項に上げることについて反対ではないが、自主的審議事項に上げて揉むことを、消防団の責任者に根回し、内諾を取ってからにしてほしい。

【山岸副会長】

- ・内諾よりも、「出張」地域協議会の場で、団員の欠員補充も難しくなり、活動自体もなかなか厳しい状況があると出ている。地域協議会でどういうスタンスを取るか。会長が消防団と折衝をするのは当たり前だが、根回しをするのは違うと思う。既に問題として提起されている部分の対応である。

【鷺津主任】

- ・自主的審議事項としていただく数の制限は特にはない。たくさん上げていただいても差支えない。他の区では5～6件も並行して協議しているところもある。
- ・じっくり協議したり、消防団から話を聞いたりした上で、意見書にするかしないか、これからの議論になるが、時間をかけるもの、早く結論を出すものがあるかもしれない。しかし、自主的審議事項とする案件の数については、特に制限はない。

【小林所長】

- ・今ほどの審議に向かうにあたり、消防団について、どういう立場の方からの意見かは推察できないが、それを、吉川区の課題である、あるいは、他の団ということではなく、地域に住んでいる人達が、どのように捉え、支援できるかという位置付けで、皆さん方が話をする項目でよければ、どんどん進めていただきたい。
- ・あくまで、地元で解決できる、地元の方々と話し合いの中で、方向性が見出せる部分を前提に協議をいただきたい。

【片桐雄二会長】

- ・他に質疑を求める。
- ・消防団の部分は、非常に微妙で、自治消防、集落によっては消防団がない地域もある。それを踏まえ、私たちが協議をしてできるものがあれば。山岸副会長から話があったが、団の要望を聞いていないので、要望を聞きながら、協議してもいいと思う。自主的審議事項に上程することで異論はないか。

【委員】

- ・発言なし。

【片桐雄二会長】

- ・安全・安心部会から提案のあった、「地域消防団への支援活動及び今後について」、自主的審議事項として協議する。
- ・次に、「防災無線を含む情報伝達の確保について」は、以前にも内容について議論したが、防災無線の運用方法と今後の情報伝達について、地域の皆さんがどのようにしていくか、協議いただく。
- ・質疑を求める。

【委員】

- ・発言なし。

【片桐雄二会長】

- ・事務局に確認するが、防災無線については、以前は防災関連だけだったが、今は行政区からのお知らせ、伝達も行われているようだが、今の運用は、防災に限らずという認識でよいか。

【大場次長】

- ・基本は、防災行政無線ですので、災害時の皆様への伝達の主だが、市からのお知らせも放送するという位置付けである。

【片桐雄二会長】

- ・部会から自主的審議事項に上げてもらいたい理由は、防災無線は配置されているが、利用状況の実態をつかんでいないのではないかという、前回の話の延長線上にあると思う。
- ・質疑を求める。

【委員】

- ・発言なし。

【片桐雄二会長】

- ・山越副部会長から話のあったとおり、他の件についてはこれから審議するが、この件については緊急性が高いので協議をお願いしたいようだ。防災無線は故障が多いような話もある。警鐘も含め、我々で協議することも大事かと思う。
- ・特に意見がなければ、自主的審議事項に上程することとしてよいか。

【委員】

- ・異議なし。

【片桐雄二会長】

- ・安全・安心部会から提案のあった、「防災無線を含む情報伝達の確保について」、自主的審議事項として協議する。
- ・今後の協議の進め方については、安全・安心部会長と3役で協議し進めることとしてよいか。

【委員】

- ・「はい」の声あり。

【片桐雄二会長】

- ・そのようお願いします。

- ・他に、副部会長から発言はないか。

【山越委員（安全・安心部会副部会長）】

- ・平山部会長が出席ならば、今日終わったら、それを受けて部会を開催したいという話だったが、今日は忙しい日だったので、後日部会を開催するとのことだ。

【鷺津主任】

- ・今ほど2件を自主的審議事項とすることを決定いただいた。自主的審議事項となれば地域協議会全体で協議が必要かと思う。どこが中心となって協議を進めていくのかを決定いただきたい。部会で引き続き協議するのか、前例では特別な委員会を設けることもあった。今後の方針について確認したい。

【片桐雄二会長】

- ・今ほど話をしたが、今後は部会を中心に、3役も交え、これからの協議をどのようにするか、皆さんの意見を聞きながらとするが、基本的には、部会長、部員、3役で進めていく。よろしいか。皆さんから意見を聞きながら、協議していく。
- ・竹直の「出張」地域協議会の実施結果について、事務局から説明を求める。

【鷺津主任】

- ・協議資料No.1－6に基づき説明。
- ・これまでの課題は合計131件に上っている。

【片桐雄二会長】

- ・この案件について、各部会で持ち帰っていただき、今後の活動に組み込んでいただき、方向性を出していただきたい。
- ・次に、(2)平成30年度地域活動支援事業採択方針等について、協議を行う。
- ・事務局の説明を求める。

【鷺津主任】

- ・協議資料No.2－1に基づき説明。

【片桐雄二会長】

- ・途中までとなっていた内容について、今日も時間的な制約があり、全部ではなく、協議できるところまで、意見交換をしながら方向性をまとめていきたい。協力をお願いする。
- ・No.2の項目、プレゼン、現地視察について、質疑を行う。
- ・プレゼンをしていただく、ということできている。現地視察は特定の部分でとなっ

ている。プレゼンは実施を原則とするか。現地視察について、全部行くのか。協議で絞るのか。

- ・プレゼンについて、質疑を求める。

【委員】

- ・発言なし。

【片桐雄二会長】

- ・時間について、日程的な関係もあり、何度も分けて審査するのは難しいという意見が大半だった。
- ・プレゼンについて、全員をプレゼンするのかどうか。議論願う。
- ・今までは、プレゼンや現地視察の後に、事前審査（予備審査）を行ってきた。
- ・違う意見があれば発言願う。

【委員】

- ・発言なし。

【片桐雄二会長】

- ・意見がなければ、今までどおりプレゼンを実施し、現地視察については、案件の内容について意見を賜り、する、しないは協議によって決める、としてよいか。

【山越委員】

- ・前回、薄波委員から、プレゼンが形式化していないか、という意見があった。プレゼンをして、その場で、継続提案のものもなぜ継続提案なのかとか、プレゼンの場で意見交換ができれば、もっとほかの方法論はないのかとか、時間が許せば、そのようなことも可能性を持っているのではないか。それがきちんとできた後に、審議を行って、それで審査という形をとれば、プレゼンも生きてくるのではないかと思う。

【片桐雄二会長】

- ・他に質疑を求める。
- ・今ほどの、山越委員の発言は、この後のNo.4-1、4-2にもあるように、プレゼンについて意見が少ない、形骸化しているといった指摘である。事前の説明を受け、それについて意見のある方は、先に質問状を提出している部分もある。事務局としても、そこで皆いきなり聞かれても、プレゼンをする方は、緊張もあり、全て答えられるように、事前に委員から質問をいただいたものを、プレゼンでも説明をいただいている。プレゼンを活発にするには、そういう質問をある程度、事前に用意し

ておいてもそこで質問するという形にすればと思う。事前に質問が出ているので、プレゼンの場で、予め用意された答えというのものもある。

- ・それについて、どのようにお考えか。
- ・横田委員、どうか。

【横田委員】

- ・今ほど話の出ていた、形骸化ということについては、たしかにそういうところもあるが、質問事項は、答える相手もあり、資料等数字的なものもあり、事前にある程度、今までどおり質問をとりまとめた方が良い。
- ・会議の中での本気さ、私たちの、お互いの真剣さが出るようなトークができるかどうかは、ちょっと勉強不足だったり、相手の本気さというところも出て来るかもしれないが、その辺、山越委員が言われたとおり、こんなことを具体的に答えてくださいという、こちらの質問に対する工夫も必要かと思う。
- ・今までどおりの進め方でよいと思う。

【片桐雄二会長】

- ・関澤委員、どうか。

【関澤委員】

- ・今までの審査のやり方から言うと、委員同士が提案事業について協議しなくて、いきなり勉強会、本審査という形だった。問題は、その提案事業について、委員同士が、この事業をどう思うとか、議論も必要かと思う。
- ・今年度の270万円オーバーという中、梶の村普請でもできるような仕事を、地域活動支援事業に出した。集落内でもできるような事業を、提案事業として出した。委員同士の議論がないうちに、委員同士が、自分の模索の中で、点数を付けていった。議論と審査を分離するという形も、とってもいいと思う。
- ・問題は、その年その年で、予算より少ない提案だった場合、議論する必要がないと言われればそうだが、この提案についてはどうかという勉強会の前の段取りで行ってみてもいいと思う。

【片桐雄二会長】

- ・上野委員、どうか。

【上野委員】

- ・私の考えの基本としては、プレゼンは継続してほしい。というのは、提案書を読ま

せてもらっても、真剣味は伝わってこない。肉声で提案内容を説明してもらおうと、より提案内容がはっきり理解できるような感じがするので、プレゼンは継続してほしい。

【片桐雄二会長】

- ・薄波委員、お願いします。

【薄波委員】

- ・No.2の内容については、私の提案である。
- ・結論からすると、プレゼンは全員にやっていただきたい。
- ・これを出した理由は、前回もお話ししたが、内容の把握が、皆さん十分できていないのではないかと。事前に質問票を出す、提案書と文面だけでは理解できない部分があって、質問として出せない内容も含まれているのではないかと。そういう部分は、やはりプレゼンで聞くなり、皆さんで議論して、ここにはこういう問題があるのだろう、といった、突き詰めた内容の把握が必要だと思う。
- ・先ほど、関澤委員が言われたとおり、提案の金額が少なかった場合、全部採択するのか。それは採択してはならないではなく、ちゃんと議論してから採択すべきであると思う。
- ・金額で決めるのではなく、内容で決めるような進め方をしていただきたい。
- ・プレゼンもやってほしい。現地視察もやってほしい。
- ・議論と審査を分離するのも私の考えだ。
- ・プレゼンももう少し時間をかけて、たいへんだが、時間をかけて踏み込んだ議論、質問を行ってほしい。

【片桐雄二会長】

- ・大滝委員、いかがか。

【大滝委員】

- ・議論と審査を分離するというのは、関澤さんと同じく賛成である。事前に提案書は配布されるが、文章だけでは伝わらない部分がある。それを見た中で、プレゼンに入る前とか、よく内部で1つ1つ、時間もかけられないが、ある程度議論して、全案件にプレゼンをしてほしい。

【片桐雄二会長】

- ・片桐利男委員、いかがか。

【片桐利男委員】

- ・ 結論的にプレゼンをお願いしたい。
- ・ 9月の合同研修会の分科会でも触れたが、私共は、提案者と同じ目線で、提案者は何を考え、何をしているのか、理解を深めていくことは大事である。提案者の考えを理解せず、ああだこうだという決め方は、支援事業の中身を見ないやり方だ。提案者と同じ目線で、物事を判断したいので、プレゼンをお願いしたい。

【片桐雄二会長】

- ・ 佐藤委員、願います。

【佐藤委員】

- ・ プレゼンに関しては、全事業行うべき。現地視察は必要に応じ、今年のやり方でいいと思う。

【片桐雄二会長】

- ・ 加藤副会長、いかがか。

【加藤正子副会長】

- ・ 提案内容は、皆さんおっしゃるとおり、紙面だけでなく、プレゼンを実施したほうがいいと思う。協議に時間的制約があり、この地域活動支援事業自体が長期に渡るので、その辺を考えていかないと、内容等を検討するにも、時間の制約で、省く部分は省かなければならない部分がある。その辺を検討した上で、実施すればいいと思う。

【片桐雄二会長】

- ・ 山岸副会長、願います。

【山岸副会長】

- ・ 基本的に、今までどおりでいいと思う。ただ、協議にもっと時間をかけてと思うので、申請案件が多い場合、プレゼンを受けて、その場で聞けない、もうちょっと突っ込みたいという場面が起こるとすれば、その日に仮審査まで行かないで、そういう場面で検討してはどうか。基本的には、今までも検討はしている。プレゼンを受けて、プレゼンの申請要綱を見て、これとこれはどういうことかと質問をしている。漏れているものは当日お聞きしたりしている。それを越えるものは、たくさん出るようであれば、それをわざわざ省く必要はない。時間をかけてということになる。
- ・ 基本的には今までどおりでよいと思う。

【片桐雄二会長】

- ・皆さんの意見をお聞きし、プレゼンは行うことでよいと思う。現地視察や、内容について必要であれば、よく理解できないとか、委員から意見があれば、協議の上で現地視察をすればいいと思う。
- ・協議の時間、内容について、山岸副会長からも話があった。議論をしていないような誤解をしているようだが、それにかかる時間など議論はしている。事前の質問について文書で答えてもらうことになっているが、案件が出たところで、皆さんから質問内容を取りまとめたときに、文書でなく、プレゼンのときに、質問のある方は、もう1度質問していただき、口頭で答えてもらう。後で回答について文書を配布してもらう。そうすれば、聞く方もどういう質問か分かるし、その人の思いが伝わる部分がある。文書のやりとりだけでは真意が伝わらない部分がある。その辺りを改正し、事前に質問のある委員は、文書で事務局に提出するが、当日は口頭で質問し、提案者には事前に質問内容を伝えておき、口頭で回答いただく。後で文書で回答をもらう。そうしたらどうか。それ以外は今までどおりとする。
- ・異論がなければ、この内容でお願いします。
- ・No.3-1について、何度も同じ提案が出ていることについて、意見が分かれたのは、同様の案件でも発展性があれば、支援していくべきという意見と、同じ提案が毎年毎年あれば、自主的な活動にならないという意見もあった。
- ・新たな考え、意見があればお願いします。

【委員】

- ・発言なし。

【片桐雄二会長】

- ・これについて、柿崎区、大瀧区では、3回までとか、限度額を設けるとか、いろいろな提案があったが。いかがか。
- ・逆にこういう内容についても、吟味し、協議していく。定義を設けるのではなく、案件案件によって、考え方や提案趣旨も違ってくると思う。そういう内容については議論を尽くすということで申し合わせをしておくというのも1つの案かと思う。それともルールをきちんと決めるか。いかがか。
- ・上野委員、いかがか。

【上野委員】

- ・頸北地区の合同研修会で、非常にいい発言があった。地域活動支援事業の補助金は、事業を立ち上げるための補助だ、という発言。そういう見方はしていなかった。その発言を聞き、なるほどと感じた。
- ・複数回提案することは、その発言を聞き、変わってきた。
- ・前回、片桐利男委員の発言もあり、なるほどと思った。3年継続している事業は、地元でやっている方々は、大事な事業だと思って提案している。支援事業の枠から外して、地域を元気にする提案事業に舵を切ったらどうか、という発言を聞き、いろんな意見があると思った。

【片桐雄二会長】

- ・片桐利男委員、どうか。

【片桐利男委員】

- ・発展性の点数に上限を設けるという提案があったが、これから提案される事業全て想定できるかということがある。私どもが想定できない事業が出てくるかもしれない。今回うまくいったから、来年も吉川区や周りをよくする事業が出るかもしれないと思う。
- ・これからどういう事業が提案されるか分からないが、会長が言われた、その都度協議する、という発言に賛成する。その都度協議ということに留めてほしい。

【片桐雄二会長】

- ・他に質疑を求める。

【委員】

- ・発言なし。

【片桐雄二会長】

- ・前回、片桐利男委員から、4回目でよくなる事業があったり、5回やったらもっと発展性があるって定着する事業もある。事業の将来性は計れない部分がある。
- ・その都度、皆さんと慎重に議論して、意見交換をしながら、採点をしていければと思う。あえて何点とか上限を設けることなく、意識の中では、そういう案件については十分議論することを申し合わせし、現状の形とさせていただきたい。よろしいか。

【委員】

- ・「はい」の声多数。

【片桐雄二会長】

- ・ではそのようにする。
- ・次に、No.3-2は、No.3-1に附帯している部分なので、検討されるということによいか。

【委員】

- ・「はい」の声あり。

【片桐雄二会長】

- ・No.4-1、4-2について、プレゼンの方法について、質問の回答は文書による回答ではなく口頭とする申し合わせが行われた。
- ・プロジェクターなどは、使える団体、使えない団体があるので、プレゼンの内容を妨げるものではないことから、提案者の希望でよいと思う。
- ・プレゼンの形骸化について、事前審査、現地視察をするかどうか、皆さんと議論しながら仮審査ということになる。今までどおりでよいと思う。よろしいか。

【委員】

- ・「はい」の声あり。

【片桐雄二会長】

- ・今日はNo.5まで協議する。
- ・勉強会での予備審査は必要か。予備審査について、慎重審議をするが、ある程度方向性を出したところで、公開審査になる前に、議論した内容が、他に漏れることが問題ということに尽きる。本来であれば、ここで協議した内容が漏れるということは、よろしくない問題だが、ある程度協議をすることは必要であり、時間の制約もあるので、当日公開審査で全部の審議をするとなると、時間が読めないことや、予算の関係もあることから、ある程度、今までは予備的な審査をしてきた経過がある。
- ・これについて、どうしたらいいか。質疑を求める。
- ・薄波委員、いかがか。

【薄波委員】

- ・これについても、議論に尽きるかと思う。議論をしてあれば、予備審査なしで、本審査だけでもいいと思う。議論が十分にできていない段階で、採点しようとする、やはり、予備審査、本審査という段階を踏まないと、なかなか気持ちが伝わらない部分がある。

- ・本来、この課題というのは、議論の経過、仮審査の経過、情報漏えいから来ていると思う。その辺をきちんと認識していただければ、今までどおりでいいと思う。

【片桐雄二会長】

- ・大滝委員、どうか。

【大滝委員】

- ・協議会委員の認識をある程度共通化する、というのが問題となるが、漏れないようにするのは、委員の認識でしかない。予備審査、本審査、予備を行って間違いないように本審査を行っているとは認識している。議論をした上で、委員の認識を共通認識で確認するしかないと思う。

【片桐雄二会長】

- ・両委員から話のあったとおり、予備審査のときに周知して、認識を共有していただく。一番心配するのは、議論した内容を共有するとき、後々漏れ聞こえると、提案者に対し、どうしてこうなんだ、という意見があったり、本審査前に、提案者からの働きかけや圧力があるのはよろしくないもので、モラルを共有し守っていただくことで、共通認識を持つこととしていただきたい。
- ・次回、残り3つについて協議する。
- ・本日の協議事項は、これで終了する。
- ・次第5 総合事務所からの諸連絡について、事務局から説明を求める。

【大場次長】

- ・事務局から5件連絡する。
- ・11/19（日）原子力防災訓練
- ・11/25・26（土・日）尾神新そばまつり（遊ランド）
- ・11/30（木）吉川区町内会長連絡協議会（吉川コミュニティプラザ）
- ・12/15（金）～21（木）明るい選挙啓発ポスター巡回展（吉川コミュニティプラザ）
- ・地域教育往来（第53号）の配布について

【片桐雄二会長】

- ・質疑を求める。

【委員】

- ・発言なし。

【片桐雄二会長】

- ・次に、その他に入る。
- ・まず、山本孝嗣委員の部会の所属についてである。
- ・事務局から説明を求める。

【鷺津主任】

- ・山本孝嗣委員から、3つの部会のいずれかに所属をしていただきたいと思う。ご本人の希望は、事務局を通じ、皆さんに一任すると伺っている。いかが取り計らうか。
- ・事務局としては、人数が1人ずつ少ない、次世代担い手部会か暮らし・支え合い部会
でお願いしたい。

【片桐雄二会長】

- ・これについて、私が次世代担い手部会に所属しているので、一緒にやってもらいたいと考えている。いかがか。

【委員】

- ・「はい」の声多数。

【片桐雄二会長】

- ・関澤部会長、次回から山本委員は次世代担い手部会ということでお願いします。
- ・次に、山岸副会長から提案があるそうなのでお願いします。

【山岸副会長】

- ・敬老会のときの出席者のアンケートについて、結果はどうだったのか。竹直の「出張」地域協議会でも話が出ていた。まず、結果についてお聞かせ願いたい。

【小林所長】

- ・去る10月12日に、吉川区の敬老会を開催した。参加者は236名、参加率は23.9%であった。昨年より若干少ない現状だった。当日、悪天候もあり、急遽欠席の連絡が、12名ほどあった。
- ・アンケートについて、満足度の部分は、委員から意見を賜り、昨年は私も就任したばかりだったので、これが吉川区の敬老会の持ち方だと理解していた。ご意見を頂戴するまでは、それに係る満足度、どのように受け止められているか、ご意見を頂戴する間がなかったことを反省し、今回、募集の段階において、町内会長の皆さんに参加のお願いをしている折に、実施方法についてご意見があればということで、町内会長さんには意見用紙を添付した。それについては、現在、実施方法等でご要望などはなかった。

- ・当日の部分については、先回もお話ししたとおり、私共としては、参加者の満足度、それらについての把握の仕方が、今まで取られていなかったことを反省し、今回、会場内において、アンケートというより、意見の用紙、意見の受入れ体制を整えた。
- ・これについては、司会から、会に先立ち、ご案内、ご説明し、私も出席していたので、私の言葉で、終会の前に、今回の趣旨や、ご意見を頂戴する旨の手法を説明し、帰りの折に、ご意見のある方は用紙に記入いただきたい、ということで行った。
- ・結果的には、ご意見として、その場で書き物としていただいたものは2件あった。1件は、その場で金婚式のお祝いをしているが、その中で、鏡割りや記念写真を撮る場を設けていなかった点である。鏡割りは、金婚式を迎えられた方が壇上で行ったが、その辺りの、やり方、写真を撮る時間を設けてほしい、という意見を頂戴した。これらについては、来年度の運営に反映できればと思う。
- ・もう1件について、記念品というよりも、紅白饅頭や赤飯がいい、という意見があった。これについては、対象も多く、会場においては、飲み物やお土産、つまみ、お菓子等、リクエストに答えるような形で、会場に販売ブースを設けてもらっているので、そのような形で検討できればと考えている。
- ・竹直で意見を頂戴したが、その方は3年連続で出ていただいている。やり方や改善の余地がないか、一個人の意見として承った。続けて出席していただいている方々が、より満足いただけるような形で、今後も取り行っ、改善を図っていきたい。
- ・山岸副会長からあった、私どもが行う事業について、参加対象者全員から意見を聴取する手立てが必要ではないか、というご意見について、現在、対象者全員へのアンケートは考えていない。参加されている方々の満足度を少しでも上げていけるよう運営していきたい。
- ・会場設営について、昨年席の間が狭いといった要望に対しては、今年度改善を行った。会場では、椅子席が冷たいのではということで、椅子に座布団を敷いた。提供されている食べ物など少しでも温かいもの、乾物ではなく加工されたものをお願い、今年度、会場で提供される品物は、早朝来、支配人や皆さんが協力して提供している。
- ・一人一人のご意見、全てを賄える、それに基づいて行うという形ではない。現在、参加していただいている方々の満足度を、少しでも上げていきたい。
- ・私としては、お帰りの時に、会場におられる方々、お一人お一人にお声掛けしながら

ら、見送らせていただいた。その時、今回の開催についての感謝の言葉や、雨の中での開催だったので、それに対するお礼等を承っている。今後、その場での言葉を、できるだけ反映させたい。

- ・運営に関する任意団体や、会場のご意見は、吉川区において、まちづくり吉川や老人クラブ連合会に、(敬老会の) 受託ややり方について意見を求めたが、受け入れられる体制ではない、という意見をいただいている。

【山岸副会長】

- ・アンケート用紙を配っていただいたことに感謝する。残念なことに、その場に参加された方に、いつ用紙を配るのか、という話が出て、帰り際に、皆先を急いでいるのに、書く人なんていない、という話も出ていた。その辺を重く受け止めていただきたい。
- ・来ている人の満足度と言われたが、行きたいけど、あそこなら行かない、という話を聞いている。なぜかという、多分8年になるが、全く同じ場所で同じように行っている。記念品についても、あれやこれやと希望もあるが、祝っていただく立場としては、お年を召した方の賢明なところ、賢いところだが、実際の意見はなかなか人前では出てこない。だからアンケートをしっかりと取ってほしいとお願いした。
- ・対象者は今年から75歳以上になったのか。

【小林所長】

- ・変わらない。

【山岸副会長】

- ・変わらないのだとすると、人数が減っているのは、行けなくなった人が多くなったのか、行きたくない人が多くなったのかも含め、しっかり祝う側としては、税金を使う訳だから、確認をすべきだと思う。
- ・やり方として、吉川区に老人クラブ連合会があるはず。そこをお願いしてはいかか。老連の役員にも打診している。老連に行政から声掛けがあれば、向こうもその気になってくれるかと思う。
- ・意見があったらお書きください、というのもちょっと乱暴だと思う。出しやすいアンケートとしては選択肢だ。今までで満足しているか、変えてほしい、といったことを書き込んで、丸を付けてもらう。他に意見があればという流れであれば、意見は出やすいと思う。お年寄りには遠慮がちで、人前で手を上げて話をする人は少ない

と思う。サービスをする行政側の方で、税金を使うわけだから、有効になるよう、皆さんに喜んでいただけることを行うべきであり、そのように考えておられると思うので、やり方を工夫してもらいたい。

【小林所長】

- ・今のご意見として参考にしたい。
- ・老連については、先ほども触れたが、受けられるか受けられないか、という意見を頂戴した段階では、無理だという返事もいただいている。
- ・アンケートの記入方法も検討したが、年配の方々、筆記用具を持ってというのは、抵抗があるという意見も一部伺った中で、お言葉でいただけるものは、それを受けられるように、書ける方は記入できるように対応した。今後、工夫ができるようであれば次回等で取り組みたい。

【山岸副会長】

- ・現実に、変えてほしいという声があることを認識してほしい。一部の意見という言い方をする人もいるが、本当に確かめたのか皆に。ここなんですよ。その確かめ方が、なんかあったら書いてくださいとか、聞いたら何もなかったとか。
- ・老連が受けられないというのは、アンケートを受けられないということか。

【小林所長】

- ・敬老会の運営関係の部分の話である。私はそのように受け取った。

【山岸副会長】

- ・アンケートについては、やり方を含め、老連にお願いしたらという提案である。できればそうしてもらえば、少数意見も把握できると思う。お願いしたい。
- ・防火週間も明日で終わる。春先、竹直地区の芝火災で迷惑をかけた。その時、私も現場にいて、元消防団員として、今の消防団員がどういう活躍をするか、期待をしており、駆け付けた皆さんには感謝している。
- ・ただ、いろんなミスがあった。行政側の対応も含め、消防署員にもミスがあった。ぜひ検証してくださいと、防災担当にお願いしてある。その辺どうなのか。会議を持ったとか、こうだったとか、何も聞かせてもらっていない。

【大場次長】

- ・対応の関係について、まだ検討が進んでいない状況である。担当と協議し、次回以降、皆さんにお示しできるものがあれば、ご案内したい。

【山岸副会長】

- ・ぜひお願いしたい。

【小林所長】

- ・今ほどの、災害の対応について、想定内の部分でないのが災害であり、今回の火災の対応についての検証、汚点的な部分があったものは、改善を指示している。災害は起きてはいけないものであり、起きたときに、基本的な動作、どういう対応をするかは、日頃の訓練から成り立つものだと思う。災害、火災防止ということで、巡回、サイレンなど行っている。結果的に至らない部分もあったかもしれないが、幸いにも、人的、拡大的な部分は止められたのが実態である。検証も必要だが、予防、その原因が発生しないよう、努めて参りたい。ご理解いただきたい。

【片桐雄二会長】

- ・来年度、善処いただきたい。
- ・次に、吉川区地域協議会委員視察研修についてである。
- ・本日実施した視察研修について、皆様から感想等を伺いたいと思う。
- ・発言のある方は挙手願う。
- ・私としては、いい研修だったと思う。

【片桐利男委員】

- ・高等特別支援学校で、井部校長先生と話をした。学校なので、休日はイベントなどは開けない。買い物難民の関係でアクセスが良くなったら、こちらにお立ち寄りをしていただくのも方法ではないか、と提案した。校長先生は、この施設はエレベーターが付けられない。付けると5千万円位かかる、とのことだった。
- ・地域の中での交流施設というか、これから子どもさんたちが社会に旅立とうとするときに、いろいろな人達の意見や立ち居振る舞いに触れることは、すごく大事なことでと思う。地域のお年寄りにとっては、若い子供たちが頑張っている姿を見る事で、元気を頂けると思う。
- ・ネックはエレベーターが付けられない、という話だったので、機会があったら、将来的な交流を含め、エレベーターを付けていただく方策があれば、考えていただきたいと思った。

【片桐雄二会長】

- ・今日、(高等特別支援学校の) カフェで、最後会計が終わった後に、割りばしやポチ

袋など販売していた。元協力隊の石川さんと話をしたが、こういうものがあるのなら、あそこも募金を募っており、運営は厳しいというのは、学校の運営委員会に参加し理解しているので、そういうものをもっと販売したらどうかと、原之町のYショップでコーナーを設けて、という話をしたが、校長先生、教頭先生に話を聞くと、数がそんなに作れないそうだ。なので、協力いただいた方へのお礼や、カフェの販売でいっぱいいただ、という話だった。

- ・トイレも洋式にはなっているが、ウォシュレットは付いていないそうだ。県立で予算もないので、いろんな要望はいっぱいあると思う。機会があればカフェに行って、募金も受け付けているので、そこで支援をしていただきたい。
- ・地元にある学校を見せていただき、名前は知っているが、実情はなかなか理解できない。視察で理解させてもらったのは成果があった。地域おこし協力隊も、地域地域でいろいろな事情があることも共有できた。今日の実験を活かし、地域協議会に反映させていただきたい。

【片桐雄二会長】

- ・次に、地域協議会だよりの発行についてである。
- ・今ほどの視察研修、「出張」地域協議会・竹直会場などの様子や、山本新委員就任の件、部会での協議の状況などをお知らせするため、第33号を発行する。
- ・第33号の地域協議会だよりの編集委員は、輪番により、佐藤委員、関澤委員、平山委員となる。よろしく願います。

【片桐雄二会長】

- ・次に、次回の地域協議会の日程について協議する。

(日程について協議したのち)

【片桐雄二会長】

- ・12月定例の地域協議会は、12月21日(木)17時00分から、吉川コミュニティプラザで願います。
- ・1月の「出張」地域協議会は、1月18日(木)19時00分から、公民館泉谷分館で願います。会場については、地元と協議し、最終決定する。

【片桐雄二会長】

- ・他に、発言があればお願いします。

【委員】

- ・発言なし。

【片桐雄二会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL: 0 2 5 - 5 4 8 - 2 3 1 1 (内線 2 1 1)

E-mail: yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。